

平成25年度教育委員会各課事業計画



担当課	教育総務課	シートNo.	1
-----	-------	--------	---

基本方針	特色ある学校づくりや確かな学力の定着のための教員研修を充実する
------	---------------------------------

主な事業	目標	平成24年度の活動	より実践的な研修内容へ見直し、参加者の見直しと質の向上	平成25年度の行動計画
現職教育協議会主催の研修の実施	○全教職員を対象とした夏期研修会の充実 ○初任者、少経験者を対象とした研修の充実 ○個人研究委嘱による将来を見据えた人材作り	○救命救急講習会等実技を中心に7種7回の研修を実施。 ○初任者は社会貢献研修、異校種研修、授業研究を各1回実施。2、3年目の少経験者は主に授業研究で研修を1回実施した。 ○個人研究を2名に委嘱し、研究発表を実施した。		○エビデンスの使用法などアナライジング症状への対応、絵画の指導法 野外活動でのトーチドリツグの指導法、理科の実験の指導法等、より 日頃の指導に生かせる内容の研修を8種8回計画している。 ○2、3年目の研修は他市町と合同で実施することとし、5、6年目の職員 研修を計画することにより、若手職員育成のために、切羽目のない研 修を実施できるようにする。
校長会等各層部会の充実	○各校の情報交換を密にし情報の共有化を図る ○研究テーマを設定し共同研究に取り組む ○各層部会に指導主事が出席し、指導助言を実施する。	○各層部会の中で口頭での情報交換の場を設定し、市内各校の情報共有を図った。 ○教務主任部会の研究成果を愛知県、日進市、長久手市主任部会で発表をした。 ○校長部会で11回、教頭部会で8回、教務主任で7回、校務主任部会6回出席し、助言を実施した。	会の効果的な運用質の向上	○時間を短縮し、会議の効率化を図るため、文書にまとめて配布する方法も取り入れる。 ○市の現職教育にて部会の発表の機会を設定する。 2名の指導主事で分担し、校長部会(11回)、教頭部会(9回)、教務主任部会(7回)、校務主任部会(6回)全会で指導助言を実施する。

平成25年度教育委員会各課事業計画

担当課	教育総務課	シートNo.	2
-----	-------	--------	---

基本方針		開かれた学校づくり、信頼される学校づくりを進める	
主な事業	目標	平成24年度の活動	平成25年度の行動計画
保護者、地域への情報発信	○教育計画、教育活動状況を様々な場面で発信し周知をすることで、保護者、地域の方へ開かれた学校づくり、信頼される学校づくりを進める ○保護者、地域の方が情報交換できる会を設定することで保護者、地域の方へ開かれた学校づくり、信頼される学校づくりを進める	○学期1回の学校評議員会で計画や状況を発信した。 ○学校通信、学年通信等で活動状況を発信した。 ○各学校のホームページで活動状況を発信した。 ○PTA総会で活動状況発信と意見交換を実施した。 ○中学校の生徒指導推進協議会で活動状況の発信と意見交換を実施した。	○学校評議員に学校評価の実施に積極的に関わってもらう。 ○通信では連絡事項だけでなく、児童生徒の活動状況を知らせるようにする。 ○ホームページの活動状況掲載の促進と更新の頻度を上げる。 ○生徒指導推進協議会の報告内容を簡略化し、意見交換の時間を増やす。
保護者、地域の方が参観する機会の設定	○授業参観により、学校の活動内容と状況の周知を図ることで、保護者、地域の方に関われた学校づくりを進める ○運動会等だけでなく、参観や参加できる行事を増やすことで、保護者、地域の方へ開かれた学校づくり、信頼される学校づくりを進める	○学期毎の授業参観で保護者に活動状況を周知した ○生活発表会、1／2成人式等児童の発達段階に合わせた行事を設定し、活動状況を発信した。 ○休日の行事で保護者、地域の方が参加できる機会を設定し、活動状況を発信した。	○授業参観で、教科、総合的な学習の時間、特別活動など、参観できる内容を拡充していく。 ○保護者や地域の方に分かりやすい参観の仕方を工夫する。 ○参観だけでなく、保護者や地域の方が参加できる行事を設定する。
保護者、地域の方の人材活用	○教科、総合的な学習の時間、特別活動、部活動など様々な機会に講師や指導者として関わってもらうことで、保護者や地域の方に活動状況の周知を深め、開かれた学校づくり、信頼される学校づくりを進める	○楽器演奏、昔の遊び、絵手紙づくり、着物着付、陶芸等技術をもった方に、教科指導や文化祭の講座の講師として指導を依頼した。 ○朝読書の際の本の読み聞かせや本の修理、花壇やブラッターでの花の栽培、登下校の際の付き添い等のボランティア等の参加を依頼した。	○講師として活用できる人材の更なる発掘と場の拡充を目指す。 ○講師やボランティアの方にも学校評価等に参加してもらうよう働きかける。 ○学校間での人材の共有化を図る。

発信する
情報の見
直しとそれ
ぞれの会
の内容の
見直し

授業参観
や各種行
事の内容
や見せ方
の見直し

講師として
関わっても
らう内容を
広げる

平成25年度教育委員会各課事業計画

担当課	教育総務課	シートNo.	3
-----	-------	--------	---

基本方針		学校施設の環境整備を図る	
主な事業	目標	平成24年度の活動	平成25年度の行動計画
トイレ改修事業	・小中学校において、トイレの悪臭を解消し、衛生的観点から大規模な改修を行う。 ・平成27年度までに完了する。	・トイレ改修工事設計 ⇒長小・西小・東小・長中で実施した(新規)。 ・意見交換会 ⇒該当小中学校のPTA、教員を交え、11/24に実施した(新規)。 ・保護者アンケート ⇒該当小中学校の保護者対象に実施した(新規)。	・トイレ改修工事 ⇒長小・西小・東小・長中で夏休みに実施する 予算:214,553千円 ・トイレ改修工事設計 ⇒北小・南小・南中で実施する。 予算:10,295千円
		・小中学校において、大規模な地震に備え体育館の非構造部材の耐震化を行う。 ・平成27年度までに完了する。	・屋内運動場非構造部材耐震調査 ⇒長小・西小・東小・北小・南小・市が洞小・長中・南中で9月末までに実施する。 ・屋内運動場非構造部材耐震設計 ⇒調査結果を基に長小・西小・東小・長中で実施する。 予算:20,696千円(調査・設計)
非構造部材耐震化事業			
建物改修事業	・小中学校において、校舎等の老朽化が著しい部分について、改修を行う。 ・平成30年度を目途に実施する。	・東小 ⇒水道管布設替工事を実施した。 ・南中 ⇒体育館屋根改修工事を実施した。 ・建物改修計画策定 ⇒次年度予算を確保した(新規)。	・建物改修調査計画 ⇒長小・西小・東小・北小・南小・長中・南中で実施する。 予算:8,283千円

児童生徒保護者の要望に沿った事業計画

緊急な事業の着手

抜本的な事業の着手

平成25年度教育委員会各課事業計画

学校施設の環境整備を図る		
基本方針		
主な事業	目 標	平成24年度の活動
北中学校新設事業	- 児童生徒の増加に対応し、学校区の適正化を図るため、北部地区に新設中学校を整備する。 - 平成24年度に完了する。	- 新設北中学校の竣工 ⇒平成25年3月10日竣工式。 - 植樹祭 ⇒地域住民主体の実行委員会を3回開催し、平成25年3月2日に開催し、約600人の地域住民と植樹ボランティアが参加した。 - 内覧会 ⇒平成25年3月24日に開催し、約1000人の地域住民が見学した。 - 校舎増築工事設計を実施した。 - 校舎増築工事の契約 ⇒平成25年2月13日に契約。 - 住民説明会 ⇒平成24年7月と8月に校区内の住民を対象に計画説明会を実施した。 - 平成24年11月に校区内の住民を対象に増築及び学校区の在り方について意見聴取会を実施した。 - 増築工事設計 ⇒次年度予算を確保した。
市が洞小学校増築事業	- 市が洞小学校区の児童数の急増に対応するため、校舎の増築を行う。 - 平成25年度に完了する。	校舎増築工事の竣工 ⇒平成26年3月末までに竣工する。
東小学校増築事業	- 東小学校区の児童数の増加に対応するため、校舎の増築を行う。 - 平成27年度までに実施する。	- 校舎増築設計 予算：17,556千円 - 計画説明会 ⇒年内に校区内の住民を対象に実施する。

事業完了済み

早期に事業の完了

早急な事業の

平成25年度教育委員会各課事業計画

担当課	教育総務課 (平成こども塾)	シートNo.	5
-----	-------------------	--------	---

基本方針		里山の豊かな環境を生かした体験活動による、子どもたちの生きる力の育成	
主な事業	目標	平成24年度の活動	平成25年度の行動計画
小学校連携プログラムの実施	・5段階評価の結果、85%の児童が「とても良かった」、「良かった」と回答する。 ・5段階評価の結果、85%の先生が「とても良かった」、「良かった」と回答する。	・クラス単位で年間63プログラム実施。 (飯盒炊さん、カレーライス作り、おこしもの作りなど) ・子ども塾会員、サポート隊、市内公共施設で約400通(メール含む)配付。 ・広報・HPで掲載。	・クラス単位で年間57プログラム実施(5プログラム程度別に計画中)。 (飯盒炊さん、カレーライス作り、おこしもの作りなど) ・事業実施後に児童がこども塾に来てよかったかどうかを5段階で評価する。参加した先生がこども塾を活用して良かったかどうか5段階で評価する。 予算:1,220千円
こども塾だよりの配付	・小学生の申込を増やし、定員割れのプログラム(24年度44プログラム)を1割減らし40プログラム以下にする。	・こども塾会員、サポート隊、市内公共施設で約400通(メール含む)配付。 ・広報・HPで掲載。	・こども塾会員、サポート隊、市内公共施設で約400通(メール含む)配付。 ・広報・HPで掲載。 ・市内全小学校の全家庭・職員へ3,160通配付。
平成こども塾プログラム事業	・5段階評価の結果、85%の参加者が「大変良かった」、「良かった」と回答する。	・年間14プログラム実施し、参加者247名。 (南木曾で魚をつかまえよう!、冬の星空コンサートなど) ・満足度91%	・平成24年度の事業を精査し、年間8プログラム実施する。(南木曾で魚をつかまえよう!、水野政雄(造形作家)の世界など) ・事業実施後に参加者がプログラムの満足度の合いを5段階で評価する。 ・予算:180千円

事業の成果
の目標値の
設定

小学生へ
こども塾の
プログラムの
周知

参加者が
満足する
事業内容

平成25年度教育委員会各課事業計画

基本方針		生涯学習の促進。教育施設を地域に開放する。	
主な事業	目標	平成24年度の活動	
	・小学校の図書館を地域開放することにより子ども読書活動の促進や親子の交流や学習の場を提供。 ・年間利用者の目標 300人	・毎週土曜日午前(年間開室日数45日間) ・平成24年度の年間利用者45人	児童や保護者により事業を周知
北小学校の図書館開放事業	講師と受講生がそれぞれの立場で学ぶことを目的とした市民主体の講座をとおして人材の育成や市民相互の交流をはかること、学習成果を地域に還元していくことが目標。 ・講座成立率の50%を確保する。 (講座を募集し、定員が確保されれば講座成立)	・講座成立率は、51.16%。 (43講座応募して22講座成立した。) (平成23年度50.00% 平成22年度39.47%)	児童や保護者により事業を周知
ながくて・学び・アイ講座			児童や保護者により事業を周知

平成25年度の行動計画	
・広報とホームページで周知する。 ・文化の家や中央図書館内で、北小図書館が学習室として利用できることを周知する。 予算:241千円	・前期と後期で50講座程度を募集する。 ・本講座の趣旨に基づき、講座の採用について社会教育委員会で審査し、市民のニーズに応じた講座を選択する。 予算:696千円

平成25年度教育委員会各課事業計画

担当課	生涯学習課	シートNo.	7
-----	-------	--------	---

基本方針		生涯スポーツの推進	
主な事業	目標	平成24年度の活動	平成25年度の行動計画
新着ふれあいマラソン大会	マラソンコースについて、エコロパークの一般来園者との完全分離を図り、参加者が安全に走行できるコースを設定する。走りやすく記憶にこだわることもでき、また安全性も高いコースとすることで、全ての参加者に満足してもらえる催しにする。昨年度を上回る、1,700人の参加を目標とする。	エコロパーク内管理用道路及び園内道路を使用し、マラソン5キロ・10キロ、ジョギング1.5キロを実施し、計1,648人が参加した。一部の対面走行箇所では、一般来園者の通行に支障が生じ、参加者の走行にも影響が出ている点が課題。	サイクリングコースを使用し、多目的広場を発着点とすることで一方走行かっ一般来園者と分離したコースを設定する。 マラソン大会事業費 794,000円
	秋ヶ池公園内の池を囲回する園路において、年代を問わず、ウォーキングやランニングまた散歩路として誰でも楽しめるように改修する。経年により園路の砂が流出することにより生じた段差や凸凹を解消することから着手する。	園路の一部を改修。(施工内容及び事業費) ・植樹林修繕 38,000円 ・階段流砂防止・枯葉防止柵修繕 300,000円 ・園路修繕 294,000円 ・園路柵修繕 281,000円 ・流砂防止 294,000円	園路全体の段差及び凸凹を解消し、ウォーキング、ジョギングコースとして整備する。 概算事業費 1,000,000円

公園管理者と協議の上許可を得る

早急な工事着手

平成25年度教育委員会各課事業計画

担当課	中央図書館	シートNo.	8
-----	-------	--------	---

基本方針		学習機会の提供及び学習の場の充実を図るため、図書館運営業務を円滑にする	
主な事業	目標	平成24年度の活動	
図書個人貸出	・市民一人当たりの貸出点数が愛知県平均値よりも高い実績をH25年度の目標とする。(H23年度愛知県平均値6.5点)	- 貸出総数:453,328点 ⇒前年度比1.3%減 - 市民一人あたりの貸出点数:8.8点 ⇒前年度比3.2%減	
図書館資料購入	・図書館資料のうち図書、雑誌、紙芝居を対象とした予約件数を利用者満足度の指標と考え、前年度実績からの増加をH25年度の目標とする。 (DVD等のAV資料は予約対象に含まない)	予約件数:14,259件 ⇒前年度比0.4%増	
南側駐車場整備工事	・図書館南側駐車場を新たに設置するた めに、借地契約をし、駐車場整備工事を 行う。 (1,008㎡) ・平成25年度上半期を目途に完了する。	- 借地契約先確保のため、近隣地の所有者へ の交渉を行った。 - 次年度予算を確保した(新規)。	
雑誌スポンサー制度	・図書館雑誌にスポンサー制度を導入し 購入費負担軽減を目標とする。 ⇒H25年度予算1,334千円の約1割(約 130千円)をH25年度の目標とする。	雑誌スポンサー制度要綱を制定した(新規)。 ⇒H25.4.1施行	

市民ニーズに対応した読書活動の推進を図る	市民ニーズに対応した読書活動の推進を図る	早急な事業の着手	民間事業者の図書館運営参加
平成25年度の行動計画 - H24年度に完成した子ども読書活動推進計画に基づき、新規事業の実施を進める中で、児童書の貸出充実を図る。(計画の推進期間はH29年度までの5年間) ⇒ブックスタート事業、学校連携事業、児童館連携事業など。 - 予約件数:14,700件を目標値とする。 (過去3年間の伸び率平均3.7%増)	- 駐車場借地契約 ⇒年度当初に契約を交わす。 ・予算:2,675千円 - 駐車場整備工事 ⇒年度上半期に工事実施。 ・予算:2,966千円 - スポンサーの募集を広く行う。 ⇒火曜会にて市内事業者を募る。 - 他館の状況を踏まえ、全雑誌の約1割以上の雑誌数を目標値とする。 ⇒10誌を目標値とする。(合計101誌所蔵)		

平成25年度教育委員会各課事業計画

基本方針	利用者の学習支援及び内容の充実を図るため、講座等企画事業を展開する
------	-----------------------------------

主な事業	目標	平成24年度の活動	平成25年度の行動計画
ツウクスター事業	・絵本に親しみふれあう機会を提供することを目的として、中央図書館おはなし会にて絵本の読み聞かせを行い、絵本とブックをセットにしたツウクスターブックを配布する。(0歳から2歳になるまで) ⇒図書館児童サービスのうち、乳幼児サービスの充実を目標とする。 ・おはなし会参加は、生後半年以降を奨励するため、年間出生人数(600人)の7ヵ月分(350人)をH25年度の目標値とする。	・子ども読書活動推進計画の策定。 ・関連部署(市民課、保健医療課)との調整。 ・乳幼児向けおはなし会実施。 ・次年度予算を確保した(新規)。	・ツウクスター事業開始。 ⇒H25.4以降の出生児を対象。2歳になるまで有効。月2回開催。 ・予算:600千円
おはなし会	・前年度実績並みを目標とする。 ⇒幼児向け、乳幼児向け、英語の絵本のおはなし会、子ども読書の日いちにちおはなし会等の参加者数	・参加者数:3,322名 ⇒月平均5回開催 ⇒前年度比16.7%増	・参加者数3,300人を目標値とする。 ⇒ツウクスター事業開始、学校連携事業による参加者増を目指す。
児童書講演会	・参加者へのアンケート調査による満足度を指標と考え、高い評価を受けていることから過去の実績並みを目標とする。 ⇒「大変良い」及び「良い」の回答者数割合を満足度とする。	・満足度:86% ⇒年1回開催、76人参加、前年度比1.3%増	・満足度91%を目標値とする。 (過去3年間の平均値91%) ・予算:285千円
現代美術展	・来場者数に減少傾向があるため、従来の企画を改め、年2回開催を年1回へ集約し、芸術作品と図書資料をコラボレーションさせた新企画をH25年度に実施し、ギャラリー来場者数増加を目標とする。	・ギャラリー来場者数:145人 ⇒年2回開催(絵画及び版画展) ⇒前年度比3%増	・来場者数72人(前年度1回開催分に相当) ⇒1階閲覧室に本の特設コーナーを設置。2階ギャラリーの紹介も合わせて行い相乗効果を出す。 ・予算:163千円

平成25年度教育委員会各課事業計画

担当課	中央図書館	シートNo.	10
-----	-------	--------	----

基本方針		子どもの読書離れに寄与するため、学校連携事業を推進する	
主な事業	目標	平成24年度の活動	平成25年度の行動計画
おはなし会	・おはなし会実施回数を指標と考え、前年度実績からの5%増加をH25年度の目標とする。	・おはなし会実施回数:630回 ⇒中央図書館からの連携司書(2名)による小学校での読み聞かせ、ブックトーク、ストリーディング等 ⇒前年度比5%増	・おはなし会実施回数660回を目標値とする。 ⇒学校連携事業はH22年度から開始したため、H23-24の伸び率5%とした。 ⇒H25年度より北中1校及び中央図書館連携司書1名増加。(計3名) ・予算:6,714千円
	・中央図書館から学校への団体貸出冊数を読書活動推進の指標とし、前年度実績並みをH25年度の目標とする。 ⇒1学年につき500冊、180日間の運用	・団体貸出冊数:10,268冊 (うち、500冊、180日間の団体貸出は小学校のみが実施) ⇒前年度比20%増	・団体貸出冊数10,000冊を目標値とする。 ⇒学校連携事業はH22年度から開始し、H24年度に全小学校に普及した。 ⇒H25年度より北中1校及び中央図書館連携司書1名増加。 ・予算:1,000千円

子ども読書活動推進計画の主要事業の充実

中学校への団体貸出推進を図る

平成25年度教育委員会各課事業計画

基本方針		芸術のまちアイデンティティの確立	
主な事業	目標	平成24年度の活動	
育成事業	地域の文化活動の担い手を育成し、厚みのある地域文化を育むため、新規講座の開設と受講者の充足率を増加させる 第2次文化マスタープランの実施計画年である27年度までに実施、第3次計画に反映させる	・長期講座17、短期講座24を開講 受講者長期講座324人・短期講座580人 ⇒講座をきっかけに住民間が交流 ⇒前年度 長期講座21、短期講座20 受講者長期講座361人・短期講座726人	
自主創造活動事業	市民参加による劇団や創造的・文化発信的な役割を担う事業を展開し、地域の人材発掘と支援をおこないホール・アイデンティティを高める公演を実施 第2次文化マスタープランの実施計画年である27年度までに実施、第3次計画に反映させる	・文化の家フェスティバル、バンブーフェスティバル：日頃の練習成果の発表場を提供 ・市合唱団：（公演入場者456人）自立に向けた運営・地域交流・チケット販売など実施 ・市劇団：（本公演入場者390人）本公演とは別に、地域演劇祭に劇団員作演出で参加 ⇒前年度 市合唱団（公演入場者544人）市劇団（公演入場者586人） ・愛知県立芸術大学：大学の持つ人材を活用し芸術活動の発信拠点となった。（オペラ制作、室内楽演奏会、コンサート、現代アート企画展） ・長久手フイルハーモニー管弦楽団：地域住民に重厚な音楽を低価格で気軽に鑑賞する機会を提供 ・音楽8事業・演劇2事業・企画展等3事業 入場者数5,626人	
提携事業	プロ・アマを問わず、地域の演奏団体や劇団など、芸術家、芸術団体、芸術系大学等と連携し、公演や創造活動の支援を行う事業を実施 第2次文化マスタープランの実施計画年である27年度までに実施、第3次計画に反映させる	・課題 講座内容の固定化 ・問題点 会場確保 ・問題点 会場確保が困難 ・問題点 合唱団が自立し向	
		・課題 講座内容の固定化 ・問題点 会場確保 ・問題点 会場確保が困難 ・問題点 合唱団が自立し向	
		・新規講座の開講（ジャズ・アート（土曜開講）、絵本講座⇒ジャズは基礎を学んでもらう） ・講座発表会・戯曲セミナー上演会⇒一年の講座生の成果の場として開催 長期講座18、短期講座15開催予定	
		・文化の家フェスティバル、バンブーフェスティバル⇒隔年で開催とする（出演団体の実行委員会形式） 今年度は文化の家フェスティバルを行う ・市劇団：老人・福祉施設などへ出向き、活動の場をひろげ進める	
		・愛知県立芸術大学⇒これからの芸術家の活動の発信拠点として、コンサートや企画展など行う。 今後のオペラ事業の進め方も検討する ・自主事業ではあまり取り組まない公演を提携事業で行い、地域住民に鑑賞の機会を増やす ・市合唱団が、指導料や公演料など部分的に自主運営活動へ移行する ⇒13事業を提携で公演等行う予定	

平成25年度教育委員会各課事業計画

担当課	文化の家	シートNo.	12
-----	------	--------	----

基本方針	誰もが参加でき、充実を得られる文化環境	
主な事業	目標	平成24年度の活動
普及・啓発事業	文化芸術に興味を持たない住民や子ども等が気軽に来られる公演等を実施し、鑑賞者を増やす 第2次文化マスタープランの実施計画年である27年度までに実施、第3次計画に反映させる	- 音楽デリバリーを7回実施 参加者555名 - ガレリアコンサート:17回開催(参加者2,150名) - 子ども向けの舞台公演:8回開催(参加者2,555名) ・であーとで:小学校2校、中学校2校(生の演奏・楽器体験コーナー・給食時間に教室をまわるグリラ演奏)⇒前年度・音楽デリバリー7回参加者595名・ガレリアコンサート14回参加者1,640名・子ども向け舞台公演8回2,539名・であーと小学校1校、中学校2校 ・39事業60公演開催(舞台公演入場・参加者数15,867人)参加型のイベントである「おんぱく」はボランティアスタッフが多数参加し、家族連れを中心に盛況 ・映像鑑賞会:鑑賞者は年間1,367名⇒月1回⇒前年度39事業48公演(舞台公演入場・参加者数14,374人)・映像鑑賞会:鑑賞者年間1,529人
鑑賞・体験事業	・市民文化および地域文化を活性化させるため、芸術にふれ、楽しむ機会を充実させる公演を実施 ・有料公演の充足率を上げ歳入の増加を目指す 第2次文化マスタープランの実施計画年である27年度までに実施、第3次計画に反映させる	・34事業42公演 ・映像鑑賞:有料公演の回数を増加する。開館15周年事業として、参加型のcobaコンサートや演劇公演 二兎社「兄弟る」、長久手常席、フライブルグ・パロックオーケストラなど公演予定。
住民参画事業	市民が、主体的に参画する機会を設け、住民参画組織の運営を支援する公演、企画展を実施 第2次文化マスタープランの実施計画年である27年度までに実施、第3次計画に反映させる	住民が企画した事業:4回開催 ・フレন্ズのつどい(2回) ・サイコンサート公演、事業の進め方研修実施。 ・ながくてアートフェスティバル(10/21～11/4,16日間)主に市内在住の芸術家および学生の参加で市内各所に芸術作品を設置 ・アトリエマーカーケット開催(10/20,21 2日間)⇒前年度 住民が企画した事業:2回開催
平成25年度の行動計画		
学校公演(アウトリーチ)の増加		各事業年間を通して ・音楽デリバリー:月1回程度の開催 ・ガレリアコンサート:月1回以上、開催 ・子ども向け鑑賞事業:音楽3回・演劇3回開催(11月8日) ・新規小学生対象に音楽鑑賞の招待公演開催(11月) ・演劇によるアウトリーチを小学校に出向き開催(11月) ・であーと:出向く学校数の増加。(中学校は3校)
市民ニーズの研究と反映		・フレンド企画の支援 ・ながくてアートフェスティバル(10/12～10/27)⇒街中のアートでの充実として、参加作家を多く募集し、市内のアトリエなどでいろいろな作家作品を展示し、地域住民が気軽に鑑賞できる場と交流の場を提供していく。

平成25年度教育委員会各課事業計画

担当課	文化の家	シートNo.	13
-----	------	--------	----

基本方針		文化を活かしたまちづくり		
主な事業	目標	平成24年度の活動	平成25年度の行動計画	
住民参画交流会議	・マスタープラン改訂にむけて基本構想への提案 ⇒ 平成28年度に改訂予定 ・公共施設のあり方(管理運営・利用方法・自主事業)の検討 ⇒ 平成25年度末までに市内優先制度の見直し ・改修計画への反映 ⇒ 平成25年度末までに実施	3/30 講演会「福祉×文化＝元氣社会！～幸福を感じるまちづくり論～」講師 衛紀生可児市文化創造センター館長 ⇒ 参加者77名 3/30 舞台見学会 森のホールの機構見学及び照明体験、ピアノ演奏会を実施 ⇒ 参加者述べ126名	・マスタープランにもとづいた市民参加による理解と意見集約 ・課題参加者の数と固定化	
			・ワーキンググループ主体により、文化の家の理解とあり方を議論する場。5月、10月、3月に実施予定。 ⇒ 5/21開催 参加者50名 cobaの講演会と市民の潜在欲求と顕在欲求の発表 ・アイデンカフェ 市民主体の企画制作会議 月1回程度実施。事業企画を11月までに提案。 ⇒ 5/14開催 参加者8名 顔合わせと自由討論 ・モニター制度 文化の家の自主事業等に対し、率直な意見をもらい事業計画に反映させる。 ⇒ 6/5開催 であーと見学。自主事業全般に参加予定 ・舞台見学会 舞台概要等を説明、見学。年4回程度(含一般、学校)実施。 ⇒ 8月、3月(一般) 6月(西小、北小)12月(東小)	

平成25年度教育委員会各課事業計画

基本方針	安心で安全な給食の提供を通して食育と地産地消の推進を図る	
主な事業	目 標	平成24年度の活動
給食調理業務	・安心で安全な給食の提供 ・適切な栄養摂取による健康の保持増進を図る	・給食実施人数 ⇒6,335人(小学校3,769人、中学校1,556人、保育所960人、その他50人) ・アレルギー対応給食(除去食)実施人数 ⇒小中学校:24人(乳10人、卵24人) ⇒保育所:43人(乳20人、卵37人) ・給食食材、食器等の衛生管理検査⇒59件 ・給食食材の放射能検査⇒16品目 ・毎月実施する給食物資選定委員会において県内産、市内産農産物を優先して選定した ⇒市内産農産物使用実績:5,387kg ⇒県内産使用割合:38.2%(11月時点調査) ・長久手給食食材生産会との栽培会議:3回開催
地産地消推進事業	・県内産、市内産農産物の使用量の拡大を図る	・毎月実施する給食物資選定委員会において県内産、市内産農産物を優先して選定する ⇒市内産農産物使用拡大:6,000kg以上 ⇒県内産使用割合:40%以上 ・長久手給食食材生産会との栽培会議の開催 ⇒生産者との十分な調整
食育推進事業	・食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるための啓発活動の実践	・栄養指導 ⇒小学校90回、保育所35回程度を予定 ・広報活動 ⇒「ながくぐての給食」:3回発行 ⇒献立表・ホームページへの掲載:毎月 ・試食会(施設見学会を含む) ⇒PTA主催:各小学校1回を予定 ⇒給食センター主催:3回を予定 ⇒他団体要請:積極的に受けて行く
調理員確保	・臨職調理員の安定確保と経験、技術の向上 ・調理業務の民間委託	・臨職調理員の雇用状況 ⇒平成24年度末実雇用人数33人(年度内新規雇用7人、年度内退職14人) ・民間委託の導入について可能性の検討

平成25年度の行動計画	アレルギー対応給食の充実 ・給食実施人数 ⇒6,619人(小学校3,945人、中学校1,609人、保育所1,017人、その他48人) ・アレルギー対応給食 ⇒除去食から一部代替食への導入の検討 ⇒対応アレルゲン拡充のための検討 ・給食食材、食器等の衛生管理検査⇒必要件数 ・給食食材の放射能検査⇒随時 ・毎月実施する給食物資選定委員会において県内産、市内産農産物を優先して選定する ⇒市内産農産物使用拡大:6,000kg以上 ⇒県内産使用割合:40%以上 ・長久手給食食材生産会との栽培会議の開催 ⇒生産者との十分な調整	市内産農産物の使用拡大 ・栄養指導 ⇒小学校90回、保育所35回程度を予定 ・広報活動 ⇒「ながくぐての給食」:3回発行 ⇒献立表・ホームページへの掲載:毎月 ・試食会(施設見学会を含む) ⇒PTA主催:各小学校1回を予定 ⇒給食センター主催:3回を予定 ⇒他団体要請:積極的に受けて行く	啓発活動の強化 ・調理従事者人数40人の安定確保 ⇒臨職の雇用形態、待遇の検討 ・民間委託への移行時期の検討
臨職調理員の固定化 ・民間委託への移行時期の検討	啓発活動の強化 ・栄養指導 ⇒小学校90回、保育所35回程度を予定 ・広報活動 ⇒「ながくぐての給食」:3回発行 ⇒献立表・ホームページへの掲載:毎月 ・試食会(施設見学会を含む) ⇒PTA主催:各小学校1回を予定 ⇒給食センター主催:3回を予定 ⇒他団体要請:積極的に受けて行く	市内産農産物の使用拡大 ・毎月実施する給食物資選定委員会において県内産、市内産農産物を優先して選定する ⇒市内産農産物使用拡大:6,000kg以上 ⇒県内産使用割合:40%以上 ・長久手給食食材生産会との栽培会議の開催 ⇒生産者との十分な調整	アレルギー対応給食の充実 ・給食実施人数 ⇒6,619人(小学校3,945人、中学校1,609人、保育所1,017人、その他48人) ・アレルギー対応給食 ⇒除去食から一部代替食への導入の検討 ⇒対応アレルゲン拡充のための検討 ・給食食材、食器等の衛生管理検査⇒必要件数 ・給食食材の放射能検査⇒随時 ・毎月実施する給食物資選定委員会において県内産、市内産農産物を優先して選定する ⇒市内産農産物使用拡大:6,000kg以上 ⇒県内産使用割合:40%以上 ・長久手給食食材生産会との栽培会議の開催 ⇒生産者との十分な調整

平成25年度教育委員会各課事業計画

担当課	給食センター	シートNo.	15
-----	--------	--------	----

基本方針		給食業務を円滑に行うため、施設及び設備を適切に維持管理する。	
主な事業	目標	平成24年度の活動	
施設及び設備維持管理業務	・施設及び設備の安定稼働の確立 ⇒建築設備：平成25年度中に全体の概要を把握する ⇒厨房設備：平成26年度までに完了する	・建築設備 ⇒日常・保守点検の励行、運転状況の監視 ⇒機器等の適正運転、蒸気、湯の必要量の把握	専門的知識が必要 な分野における維持管理方法の検討
		・厨房設備 ⇒不具合、改良箇所の把握及び改善の指示	
		・特性を活かした施設管理の実現 ⇒安全で容易な熱源管理の実施 ⇒調理場内における適正な温湿度管理の実施 ・節電対策と夜間電力の有効利用 ⇒効率的な設備運転の把握 ⇒時間帯別必要電力量の把握	
オール電化による施設運営	・オール電化サイトの活用 ⇒常時 ・電力の適正使用 ⇒常時	・新規締結契約4件 ⇒厨房排水除害施設保守点検委託(5年) ⇒エレベータ保守管理委託(5年) ⇒生ゴミ処理機維持管理業務(5年) ⇒給湯給水給蒸設備保守点検委託(5年)	特性に即した運用方法の検討
施設管理委託業務	・長期継続契約制度による委託費の削減と、関連する業務の委託先の統合を図る ⇒平成25年度までに全対象業務の委託契約を締結する	・新規締結契約3件 ⇒消防用設備保守点検委託(5年) ⇒空調設備等保守点検委託(5年) ⇒自動扉保守点検業務委託(3年)	契約可能な業務の洗い出し